

平成30年度（第8期）

事業報告書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

社会福祉法人 兵庫県視覚障害者福祉協会

はじめに

平成30年度は視覚障害者の自立した生活を地域において営むことができるよう支援することを目的に、会員のみならず中途失明者を含めた幅広い視覚障害者を対象に事業を展開した。

取り組むべき重点課題に、運営の面から、組織変革を掲げ、点字図書館と同行援護等支援センターに大きく区分し、職員が一体的に取り組める体制に変更するとともに、事業運営に理事の主体的な参加を求めた。また、利用者の立場から、利用しやすい図書館とするため、レイアウトを大幅に変更し、利用者スペースを広げ、展示品に触れやすくするとともに、歩道くんを敷くなど利用しやすい図書館を目指した。さらに、歩行訓練を安定的に提供できるよう、職員1名を日本ライトハウスの研修に1年間派遣した。同行援護支援事業についても、利用者のニーズに応えるため、サービス提供責任者を2名体制とした。

また、幅広い支援を念頭に入れ、視覚障害者の就労支援を行うため、1名を正規職員として、1名を嘱託職員として採用し、視覚障害者の職域拡大に努めている。この正規職員は、就労相談員として採用したもので、地域での相談支援にも取り組めるよう、理事・支部長等による相談支援員研修会も4回開催した。

対外的には、平成30年9月に神戸で開催された視覚障害リハビリテーション研究発表大会の実行委員会副会長に当協会会長が就任し、大会の成功の一助となった。

さらに、協会の将来を見通すための長期計画の策定については、点字図書館事業等について、県と一体的に進めるため、策定を先送りしている。

このような取り組みを進める中で、関係機関の方々等から協会の姿勢が変わったとの意見を多く聞くようになり、今後も社会福祉法人として、視覚障害者の福祉の向上に積極的に努めていく。

事業実施状況

第1 社会福祉事業

1 法人本部事業

本協会の運営に当たって、県福祉センター会議室等において、次のとおり会議を開催し、事業の適切な執行に当たった。

(1) 理事会

第43回理事会	6月8日
第44回理事会	8月3日
第45回理事会	11月9日
第46回理事会	12月4日
第47回理事会	2月22日
第48回理事会	3月22日

(2) 評議員会

第17回定時評議員会	6月22日
------------	-------

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 第18回評議員会 | 3月22日 |
| (3) 監査会 | |
| 決算監査会 | 5月18日 |
| 中間監査会 | 11月 2日 |
| 神戸市監査指導 | 11月14日 |
| (4) 正副会長会 | 5月18日のほか、業務の打ち合わせ等、ほぼ毎月開催 |
| (5) 支部情報交換会 | 7月13日、9月21日、1月11日 |
| (6) 相談支援員研修会 | 7月13日、9月21日、1月11日、3月22日 |
| (7) 視覚障害者神戸リハビリテーション研究発表大会 | 9月14・15・16日 |

2 視覚障害者情報提供施設事業

(1) 点字図書館等事業

県から指定管理を受託し、点字図書館を運営した。

① 点字図書館事業

図書館利用状況

ア 利用者登録数

2,455人、平成29年度より20人増となった。

イ 利用実数

- | | | | |
|------------|-----|--------------------|---------------------|
| ○点字図書 | (延) | 1,358人、(実)171人、 | 1,402タイトル(2,921冊) |
| 平成29年度との増減 | (延) | 18人減、(実)2人減、 | 53タイトル減(514冊減) |
| ○録音図書 | (延) | 13,502人、(実)1,125人、 | 20,755タイトル(23,024巻) |
| 平成29年度との増減 | (延) | 2,329人減、(実)148人減、 | 2,590タイトル減(5,403巻減) |

※上記の内、他図書館貸出数

- | | | |
|---------|--------|-------------------|
| 点字図書(延) | 289館 | 303タイトル(1,044冊) |
| 録音図書(延) | 5,629館 | 7,265タイトル(7,853巻) |

○点字データアップ・ダウン利用状況

- | | | |
|----------|---------------------|---------|
| アップタイトル数 | 57タイトル、アップ巻数 | 165巻 |
| ダウンタイトル数 | 6,191タイトル、ダウン延べ利用者数 | 10,324人 |

○録音(デジ)データアップ・ダウン利用状況

- | | | |
|----------|----------------------|----------|
| アップタイトル数 | 73タイトル、アップ時間数 | 419時間16分 |
| ダウンタイトル数 | 19,619タイトル、ダウン延べ利用者数 | 79,526人 |

図書館の状況

- | | |
|-------|--------------------|
| ア 所蔵数 | 平成31年3月31日現在 |
| 点字図書 | 15,234タイトル、43,339冊 |

録音図書 14, 733タイトル、59, 523巻
 点字雑誌 430冊
 録音雑誌 2, 447巻
 参考図書（普通文字）723タイトル、862冊
 拡大図書 218タイトル、397冊
 点字・録音図書用原本（完了済みのもの）3, 952冊
 ※点字図書に拡大点字図書8タイトル8冊を含む。

イ 図書収集、製作状況

○点字図書

厚生労働省委託図書	56タイトル（122冊）
寄贈図書	11タイトル（16冊）
自館製作図書	51タイトル（171冊）
購入図書	1タイトル（1冊）
小計	119タイトル（310冊）
点字雑誌	15タイトル（197冊）
計	134タイトル（507冊）

○録音図書

厚生労働省委託図書	92タイトル（107巻）
寄贈図書	30タイトル（30巻）
自館製作図書	61タイトル（61巻）
購入図書	1タイトル（1巻）
小計	184タイトル（199巻）
録音雑誌	8タイトル（96巻）
計	192タイトル（295巻）

指導・相談の状況

ア 読書相談 1, 880件

点字・録音・拡大図書等に関する相談及び辞書引きサービスやコンピュータによる全国点字図書館、公共図書館等の蔵書検索を行った。

イ その他の相談 1, 613件

中途失明等の生活相談及びボランティア等の相談や国立神戸視力障害センター、県立視覚特別支援学校・市立盲学校への紹介、入所までの連絡及び点字指導等の相談があった。

施設利用状況

ア 利用者数

聴読室等	26人
閲覧	1,080人
ボランティア研修室等	1,141人
録音室	1,105人
見学・その他	2,714人
計	6,066人

イ 施設見学

縣市町関係者	16名
ワットソ州副知事御一行様	4名
県社協職員	1名
新任特別支援学級担当教員	1名
神戸総合医療専門学校生	36名
神戸市立盲学校教諭	1名
同行援護養成講座受講生	20名
社会人、大学生、高校生、中学生、小学生他(上記以外)	10名
点訳、音訳ボランティア	1名

ボランティアの状況

ア ボランティア登録数

点訳ボランティア	80名
音訳ボランティア	108名
デイジー図書製作ボランティア	12名
対面朗読ボランティア	6名
作業ボランティア	7名

イ 登録団体

点訳	1団体
音訳	2団体

ウ ボランティアの学習会等

◇点訳研修会

のじぎくA	月2回	第2・4土曜日	午後	(4名)
のじぎくB	月1回	第3水曜日	午後	(5名)
のじぎくC	月1回	第1水曜日	午後	(7名)

のじぎくD	月2回	第2火曜日・4木曜日	午後	(3名)
のじぎくE	月2回	第2・4木曜日	午後	(5名)
のじぎくF	月2回	第2・3火曜日	午後	(4名)
のじぎくG	月1回	第1火曜日	午後	(9名)

◇音訳研修会

声のあけぼの	月1回	第1木曜日		(10名)
グループそよかぜ	月1回	第1木曜日		(18名)

◇対面朗読

年間30名の方の対面朗読を実施した。

エ 表彰関係

谷屋 昌幸	〔点訳〕	(社福) 日本盲人社会福祉施設協議会	奉仕者表彰
中野みち子	〔音訳〕	(社福) 日本盲人社会福祉施設協議会	奉仕者表彰

点字ニュース即時提供システム事業

日本盲人会連合の実施している標記事業の窓口になり、速やかな情報提供に貢献している。

ア 登録者の状況

個人登録16人(公共機関等0)

イ 利用状況

- ・点字JBニュース送付者 0名
- ・メール版送信数 3,744

その他事業

ア 点字図書館だより発行状況(年5回)

点字版	700部
録音版	750部
普通文字版	800部
計	2,250部

イ 図書選定等委員会

年4回開催し、視覚障害者、ボランティア、学識経験者の代表9名が、点字図書館としてボランティアに作成していただく図書の選定等について協議した。

ウ 夏休み親子チャレンジデー 8月11日 8組の親子が参加

夏休みに小学生の親子を対象とした体験型の催しを開催し、兵庫県点字図書館の知名度アップを図るとともに、視覚障害者に対する理解を深めることができた。

② 身体障害者福祉事業

県からの委託事業を核に下記のとおり実施した。

ア 視覚障害者情報提供促進事業

・IT相談

フロッグワークス代表岸本将志を講師に、電話または来所にてパソコン等IT機器類の操作の指導や、トラブルに対応した。

開催場所は県福祉センターで、4月～3月にかけて延べ45回、150人の参加があった。

・就職・進学に役立つパソコン技能講習会

10月から3月にかけて、前期・後期各6回実施。参加者は前期13名、後期14名。

内容は拡大画面や音声読み上げ機能を使い、ワード・エクセルの基礎、メール・インターネット接続などの操作について講習を行った。参加者が本講習会を通じて直接的に就労につながった事例はなかったものの、国家公務員採用試験受験時や職場、学校における実践的なパソコン技能を身に付けるとともに、職場や学習の場でのパソコントラブルに対する対応力を高めることにも寄与できた。

イ 視覚障害女性家庭生活訓練事業

尼崎教室

7月5日 参加者27名

午前 講演 笑い与健康「笑いヨガ」 講師 濱田昭信氏

午後 講演 「中高年の健康と美容」 講師 花王社員

8月2日 参加者31名

午前 講演「朗読」 講師 朗読グループ エコー

午後 講演「認知症の理解のために」 講師 尼崎市社協 園田地域包括センター職員

明石教室

7月13日 参加者29名

午前 講演「生活習慣病予防の食事と運動」 講師 管理栄養士 福元雅代氏
健康運動指導士 里田紘子氏

午後 講習「ビーズストラップづくり」 講師 志水登美子氏

8月10日 参加者30名

午前 講演 暮らしの意識「消費生活講座」 講師 明石市消費生活相談員
石井 正志氏

午後 講習「音楽のつどい」 講師 トランペット演奏 山口 清久氏
ハーモニカ演奏 笠井 悦子氏

ハーモニカとトランペット演奏と歌声コーナー

神戸教室

2月7日 参加者37名

午前 ふれあい体験 アザラシ、イルカ

午後 ふれあい体験 水辺の生き物（淡水・海水）

※午前・午後ともに須磨海浜水族園飼育員からの説明がありました。

ウ 視覚障害青年社会生活教室

- ・川柳教室 11月30日 午前、原田の森ギャラリー 参加者28名
- ・ヨガ体験講習会 11月30日 午後 原田の森ギャラリー 参加者22名
- ・文化講演会 1月25日 神戸芸術センター 参加者82名

エ 中途視覚障害者各種指導事業

◎神戸市 開催場所 県福祉センター

中途視覚障害者に対し、4月～3月の間、延べ10回開催し、点字技能師・点字指導員である仁枝玲子職員が、L点字を使用して触読の指導をはじめ、各種視覚障害者用器具の紹介、制度の説明などを行った。

◎県北部 開催場所 香美町、新温泉町、養父市、朝来市、たつの市、篠山市、上郡町
17名の受講生の自宅もしくは自宅周辺において、4月～3月の間、延べ118回、視覚障害者歩行指導員 武内清氏、山口規子氏、瀧上正寛氏を講師に、それぞれの目標に合わせてカリキュラムを組み、歩行・生活・点字触読訓練を行った。

◎県南部 開催場所 姫路市、小野市、明石市、川西市、三田市、尼崎市、篠山市
13名の受講生の自宅もしくは自宅周辺において、9月～3月の間、延べ65回、社会福祉法人日本ライトハウス養成部歩行訓練士5名を講師に、それぞれの目標に合わせてカリキュラムを組み、歩行・生活・点字触読訓練を行った。

オ 点訳奉仕員養成事業

◎中級基礎講座 開催場所 県福祉センター

4月～3月の間、全12回、各回6名を対象に、仁枝玲子職員が指導した。

◎中級応用講座（英語） 開催場所 県福祉センター

4～2月の間、全10回、各回7名を対象に、仁枝玲子職員が指導した。

カ 朗読奉仕員養成事業 開催場所 県福祉センター

◎朗読奉仕員養成講座

10月17日～3月14日 全7回 延29名の参加を得た。

◎朗読奉仕員研修会

4月5日～3月7日 全14回 延265名の参加を得た。

◎デイジー編集研修会

毎週水曜日に開催し、延320名の参加を得た。

◎テキストデイジー講習会

3月9・10日 全2回 延20名の参加を得た

※朗読奉仕員養成講座修了者：平成20年度～平成30年度 累計315名

キ 視覚障害者社会参加支援事業

○猪名川町健康福祉まつり 6月3日 猪名川町文化体育館

猪名川支部のブースでミニ用具展開催

○伊丹市 開催場所：伊丹市立図書館 ことば蔵 7月14日

伊丹市視覚障害者協会主催 共催として8団体が出展する用具展を実施

○高砂市 開催場所：高砂市社協ユーアイ帆っとセンター 8月22日 参加10名

プレクストーク勉強会

既に持っている方を対象にPTR3の使い方の勉強会を実施。

○丹波市 開催場所：丹波市社協 柏原支所 11月27日 13時～15時 参加10名

プレクストーク講習会

岸本氏を講師にPTR2、リンクレットの使い方をあらためておさらいする勉強会

○丹波市 柏原町福祉センター 9/3、10/1・29、11/19、12/3、1/14 参加各回4名

歩行訓練士 武内清氏を講師に、楽しく点字を習得することを目的に集まり学習する会を開催した。

○赤穂市 赤穂市総合福祉会館 1月19日 参加プレーヤー26名

「第2回赤穂STTオープン」として、障害の区別・有無を越えて交流しながら楽しんだ。

○神戸市 県福祉センター 2月9日 参加延300名

12団体が出展する用具展を実施した。

ク 同行援護養成研修

一般課程では、同行援護の制度と従業者の業務を理解し、基本的な移動の支援と技術を習得し、応用課程では、視覚障害者に対する理解を深め、講義・実技を通し必要な知識と技術を高めることを目的とする研修を実施した。

豊岡会場のみ、協会の自主事業として、兵庫県内及び近隣に居住し同行援護活動が期待できる者を対象に受講料を有料で実施した。講師は、視覚障害者歩行指導員 武内清氏が担当した。

神戸会場並びに川西会場については、例年通り、兵庫県からの委託事業として兵庫県内に居住し同行援護活動が期待できる者を対象に受講料を無料で実施した。講師は、視覚障害者歩行指導員 山口規子氏、湊上正寛氏及び小林哲夫氏が担当した。

◎一般課程・応用課程（4地区 6日間実施）

・豊岡市 開催場所：豊岡市民プラザ

開催日：8月25・26日・9月1・2・15・16日

定員30名・申込者12名・受講決定者11名・修了者11名

・神戸市 開催場所：兵庫県福祉センター

開催日：9月19・20・26・27日・10月17・18日

定員 20 名・申込者 32 名・受講決定者 19 名・修了者 19 名

・川西市 開催場所：川西市アステ市民プラザ

開催日：11 月 13・15・21・22・28・29 日

定員 20 名・申込者 9 名・受講決定者 9 名・修了者 8 名

・神戸市 開催場所：兵庫県福祉センター

開催日：1 月 15・16・21・22 日・2 月 18・19 日

定員 20 名・申込者 10 名・受講決定者 9 名・修了者 9 名

◎応用課程（3 地区 各 2 日間実施）

・神戸市 開催場所：兵庫県福祉センター

開催日：10 月 17・18 日

定員 10 名・申込者 18 名・受講決定者 10 名・修了者 10 名

・川西市 開催場所：川西市アステ市民プラザ

開催日：11 月 28・29 日

申込者 4 名・受講決定者 4 名・修了者 4 名

※当初、セット受講のみの募集としていたが、申込者数が定員を下回ったため、応用課程のみの受講も可能とした。

・神戸市 開催場所：兵庫県福祉センター

開催日：2 月 18・19 日

定員 10 名・申込者 5 名・受講決定者 5 名・修了者 4 名

(2) 点字出版施設事業

30年度は、兵庫県、神戸市等の点字広報制作、音声広報制作のほか、今年度は西宮市べんり帳などの作成を行った。さらに点字の普及啓発活動により点字名刺やシール作成の受注が増えた。

3 同行援護支援事業

利用者、同行援護従事者とも、登録数が昨年度よりさらに増加し、平成31年3月末時点では、利用者は110名(12名増)登録があり、内訳は県下30市町106名、県外1府2県4名、同行援護従事者については、23市町(2市町増)83名(6名増)であった。

実際に利用があったのは、県下24市町県外1府3県89名(24名増)であった。

4 点字図書等充実特別事業

指定寄附の有効活用を図るため、点字図書等充実委員会を年3回開催した。

また、委員より利用者とボランティアとの関係を深めるため昨年同様、点字図書利用者・ボランティアが参加した講演会・交流会を2月1日、兵庫県福祉センターにおいて実施した。

参加人員は42名で、午前に大口忠男氏の講演「そこは60年前の日本～国際貢献の意味を考える～」を行い、午後交流会が実施され、音訳・点訳に分かれて会員とボランティアでグループを作り、意見交換をした。

第2 公益事業

1 日常生活用具等斡旋販売事業

白杖の主力商品が生産終了となり、また、唯一アナウンス機能が備わっているIH調理器が販売終了になるなどの動きもあったが、PTR3の売れ行きが予想より伸びるなど、大きな落ち込みとはならなかった。高額な拡大読書器などが今年度もあまり伸びなかった。新たな機器の普及の一環として、オーカムマイアイツー2台を購入し、普及啓発に努めた。

2 文化教養交流等事業

会員・ボランティアの参加を得て次の事業を実施した。

(1) 文化教養事業

- | | | | |
|----------------|--------|-----------|----------------|
| ・将棋・オセロ・囲碁大会 | 7月6日 | 県福祉センター | 大雨のため中止 |
| ・点字競技会 | 9月7日 | 県福祉センター | 参加31名 付添等22名 |
| ・芸能大会 | 10月12日 | 垂水レバンテホール | 参加74名 付添等176名 |
| ・兵庫県視覚障害者福祉まつり | 12月7日 | 県福祉センター | 参加190名 付添等173名 |

(2) 交流等事業

① 日本盲人会連合

- | | | | |
|-----------------------|------------------------|-------------|--------|
| ・評議員会 | 6月11日 | 浅草ビューホテル | 参加1名 |
| ・あはき協議会代議員会 | 6月11日 | 浅草ビューホテル | 参加2名 |
| ・スポーツ協議会代議員会 | 6月11日 | 浅草ビューホテル | 参加1名 |
| ・全国盲人代表者会議分科会・全体会議 | 6月12日 | 浅草ビューホテル | 参加5名 |
| ・第70回全国盲人福祉大会 | 6月13日 | 東京文化会館 | 参加13名 |
| ・創立70周年記念シンポジウム | 8月18日 | 新大阪メルパルクホール | 参加4名 |
| 記念碑訪問 | 8月19日 | 貝塚市二色浜 | 参加1名 |
| ・第1回近畿ブロック委員会 | 7月6日 | 和歌山県民交流プラザ | 参加2名 |
| ・第2回近畿ブロック委員会及びあはき研修会 | 11月16日 | 神戸市総合福祉センター | 参加6名 |
| ・近畿ブロック団体長会議 | 2月20日 | 奈良春日ホテル | 参加1名 |
| ・臨時評議員会 | 3月28日 | グランドヒル市ヶ谷 | 参加1名 |
| ・あはき法19条裁判傍聴及び説明会等 | 6月6日、8月22日、11月11日、2月1日 | | 参加延11名 |

② 情報発信

- ・県視協情報発行 一年4回一般・特別会員に配布（デイジー版・CD版）

・ホームページ配信 - 毎月1日更新

③ 歳末助け合い等

・敬老奉仕活動等事業

県下15施設で実施し、参加者87名、受療者 341名であった。

・歳末助け合い

12月に県下10地区、25名に見舞金を贈った。

④ 支部活動（中山財団各地区活動助成事業）

尼崎・西宮・芦屋・宝塚・三田・加古川・小野・西脇・姫路・豊岡・丹波・朝来の12地区において独自の支部活動が行われ、延503名の参加があった。

⑤ 部活動

○青年部

・青年部定期総会	5月11日	県福祉センター	参加12名
・青年部近畿ブロック協議会第1回委員会	6月17日	京都ライトハウス	参加3名
・青年部近畿ブロック協議会第2回委員会	2月17日	和歌山県	参加4名
・第64回全国盲青年研修大会	9月16・17日	奈良県	参加13名
・青年部研修会	10月26日	太陽公園（姫路市）	参加13名

○女性部

・女性部定期総会	4月27日	県福祉センター	参加34名
・第64回全国盲女性研修大会	8月31日～9月2日	島根県民会館	参加2名
・研修会	11月11日	出石方面	参加79名
・近畿ブロック連絡協議会	1月25日	兵庫県福祉センター	参加45名
午前 式典・講演	語り・うた・ハーブによる読み聞かせ	アンブルことね	
午後 会議			

○高年部

・高年部総会・研修会	6月15日	県福祉センター	参加137名
・日帰り研修会	11月2日	洲本市（資料館と寺町めぐり）	参加89名

○音楽部

・第56回 全国邦楽演奏会	全国盲人音楽家福祉大会		
	4月14・15日	京都府立府民ホール等	参加4名
・第44回箏曲定期演奏会	11月4日		参加105名
・洋楽部練習会	全11回	神戸市立総合福祉センター等	参加延146名

- ・ 第 1 回洋楽部研修会 1月18日 明石市市民ホール 参加171名
- ・ 音楽部総会 3月21日 明石市勤労福祉会館 参加12名

○スポーツ部

【役員会等】

- ・ 役員会（2回） 4月6日、12月21日 県福祉センター
- ・ 第 1 1 回兵庫県視覚障害者ボウリング大会 11月16日 加古川ニッケパークボウル
参加選手 28 名
- ・ 近畿ブロックスポーツ部委員会 7月1日、2月24日 京都府、滋賀県
- ・ 兵庫県障害者スポーツ連盟総会 4月8日 神戸市東部障害者在宅福祉センター

【フロアバレーボール部】

- ・ 第 4 0 回近畿視覚障害者フロアバレーボール大会 11 月 11 日
エディオンアリーナ大阪第 2 競技場 主催：大阪府 参加選手 10 名
- ・ J F V A クラブ日本一決定戦近畿地区予選会 12 月 2 日
大阪市立体育館 参加選手 8 名
- ・ 練習会 年間 34 回 国立神戸視力障害センター、兵庫県立視覚特別支援学校
各回約 10 名

【サウンドテーブルテニス部】

- ・ S T T 交流会・審判講習会 4 月 27 日 県立障害者スポーツ交流館
参加選手 36 名、審判参加者 28 名
- ・ 第 5 7 回兵庫県視覚障害者サウンドテーブルテニス大会 6 月 1 日
県立障害者スポーツ交流館 参加選手 58 名
- ・ 第 7 回のじぎく杯サウンドテーブルテニス大会 9 月 14 日
県立障害者スポーツ交流館 参加選手 47 名
- ・ 第 18 回全国障害者スポーツ大会福井しあわせ元気大会 10 月 13 日～15 日
福井県 サウンドテーブルテニス部門兵庫県代表：目木伸幸
- ・ 第 56 回近畿視覚障害者卓球大会 11 月 25 日 大阪市長居障がい者スポーツセンター
主催：大阪市、兵庫県代表 8 名 団体戦：兵庫県優勝、個人戦：1 部男子 3 位目木、
1 部女子 3 位赤松、2 部男子優勝福嶋
- ・ 強化練習会 7 月 8 日、8 月 10 日、10 月 19 日、11 月 9 日 県立障害者スポーツ交流館
参加選手 7 月 4 名、8 月 4 名、10 月 7 名、11 月 4 名

【グラウンドソフトボール部】

- ・ 第 5 6 回近畿視覚障害者グラウンドソフトボール大会兼第 18 回全国障害者スポーツ大会
グラウンドソフトボール競技近畿地区予選会 6 月 3 日 主催：奈良県 参加選手 13 名
- ・ 第 2 0 回兵庫県グラウンドソフトボール選手権大会 11 月 3 日
神戸市立大倉山公園野球場 当番：神戸市 参加選手 14 名
- ・ 県 G S 選手権大会実行委員会 4 月 20 日、9 月 28 日 神戸市立総合福祉センター

第3 社会福祉充実計画

当協会では、平成29年度より社会福祉充実計画に取り組むこととし、6項目の計画を立案し、以下のとおり計画を推進した。この計画の予算は補正により投資有価証券売却収入により追加した。

- 1 歩行訓練資格を持った職員の養成
日本ライトハウスの実施する研修に1名を1年間派遣した。
- 2 計画期間中の職員の増員
計画では2名採用予定であったが、12月に全盲の視覚障害者1名を就労相談員として採用した。
- 3 サービス提供責任者の増員
計画では1名採用予定で、昨年3月に1名採用し、2名体制とした。
- 4 点字印刷機器等の更新
点字印刷機1台を購入した。
- 5 点字図書館リニューアル事業（IT情報室の改築）
計画ではドアの改修工事を29年度に行うこととしていたが、IT情報室の改築に先立ち、図書館事務部門のスペースを縮小し、利用者・ボランティアの利便性を高めることとした。なお、IT情報室の改築は令和元年度に実施する予定である。
- 6 全県及び地区交流会の実施
会員外の社会参加やボランティアとの交流を進めるため、本年度も交流会を本部で実施した。具体的な取り組みとしては、県視覚障害者福祉まつりを12月に開催し、広く集客に努めた。また、視覚障害者とボランティアの交流会を実施した。（文化教養交流等拠点）